

第55回総合特別区域評価・調査検討会 議事要旨

日 時：令和3年12月8日（水）10:00～12:00

場 所：永田町合同庁舎 108会議室（オンライン開催）

出席者：座長 安藤 光義 東京大学大学院農学生命科学研究科教授
塩見 正成 公益財団法人大阪観光局マーケティング事業部長
下田 吉之 大阪大学大学院工学研究科教授
竹林 幹雄 神戸大学大学院海事科学研究科教授
玉沖 仁美 株式会社紡代表取締役
平野 隆之 日本福祉大学大学院社会福祉学研究科特任教授
藤井 さやか 筑波大学システム情報系社会工学域准教授
藤田 壮 東京大学大学院工学系研究科教授

事務局：山西 雅一郎 内閣府地方創生推進事務局次長
黒田 昌義 内閣府地方創生推進事務局審議官
日向 弘基 内閣府地方創生推進事務局参事官
佐々木 淳一 内閣府地方創生推進事務局参事官補佐

<目標時期到来に伴う総合特区計画の認定及び指定解除予定の特区の施行状況について>

- 事務局より、配布資料（資料1、2、3、4）に基づき、令和3年度に目標時期が到来する総合特区（15特区）について、目標時期到来に伴う総合特区計画の認定を要する特区（10特区）の新計画案及び特区からの申請に基づき特区指定解除予定の特区（5特区）の施行状況を説明するとともに、目標時期が到来する総合特区に係る今後のスケジュールについて説明が行われた。
- 事務局との質疑応答及び委員間での意見交換を行い、指定解除予定の特区については本検討会で出された指定解除後の取組に関する委員のアドバイスを特区に伝えるとともに、新計画案については本検討会で出された意見を特区に伝え、新計画案へ反映できるものは反映していくことで進めることとなった。

<評価手続の見直しについて>

- 事務局より、配布資料5に基づき、評価手続の見直し案について、本年度実施した評価の際に委員から指摘のあった事項等の評価手続を見直すことについて説明が行われた。
- 事務局との質疑応答及び委員間での意見交換を行い、事務局案により評価手続の見直しを進めることについて本検討会として了解された。

<現地調査の実施状況について>

- 事務局より、配布資料6に基づき報告し、委員間での意見交換が行われた。

○なお、現地調査に参加した委員等からの主な補足コメントは以下のとおり。

- ・レアメタル等リサイクル資源特区について、実際に現地に行ったことによって評価書の記載には表れない、より詳細な事業内容を確認することができ、非常に有意義だった。
- ・森里海連環高津川流域ふるさと構想特区について、自伐型林業に取り組む動きが広がってきており、地域おこし協力隊の方々が林業技術を学んで地域住民として定着していくという動きがあるという状況や、地域通訳案内士が増加し、様々な活動の深掘りを始めている状況を新たに確認することができた

以上